

火曜会通信

発行日：平成15年10月1日

発行：伊丹市文化財ボランティアの会

発行所：伊丹市千徳1丁目1番地

伊丹市教育委員会事務局内

伊丹の神社・寺院と巨木ウォッチング 池田 利男

「文学碑のあるところに巨木あり 巨木のあるところに句碑あり」 伊丹市の神社、寺院や緑地を歩き、新たな感動を受けました。文化財ボランティアの会で3年、巨木ウォッチングで2年、今、新たな発見です。伊丹市内には里山がないので、緑が少ないように思われがちですが、市域の緑の量は10%あります。市では当面の目標として12%、将来は15%を実現できるように日々努力されています（1996年度伊丹市緑の調査）。

緑としては、風致地区、緑化保全地区の他に鎮守の森があり、我々のガイドブックに載っている神社や寺院も貴重な緑地です。

市内の神社数 24社（伊丹市神社総代会） 同 寺院数 48寺（伊丹市仏教会）

市内の巨木数 51本（伊丹市みどり環境部 平成14年6月末日調査）

うち 県指定天然記念物 2本（法厳寺の大楠 中野稲荷社のイヌマキ）

市指定天然記念物 1本（浄源寺のイチョウ）

市指定保存木 43本（内5本欠如 2本は予定）

鎮守の森を見ますと24社の内、西国街道を挟んで北側に14社、南側に10社あります。不思議なことに、一部の例外はありますが、北側は古事記の天津神系（大和朝廷）の御祭神であり、南側は国津神（出雲地方）の御祭神となっています。明治維新の神仏分離までは土着の神々が多かったことと思われます。また、須佐男命が祭られている神社が多いが目立ちますが、これらの土着神を無難な須佐男命としたものと思われます。

寺院は寺院宗派一覧によりますと 浄土宗 16 浄土真宗 15 真言宗 8 曹洞宗 8 法華宗 2 黄檗宗 2 天台宗 1 であり、これらの寺院の境内には文学碑と巨木が多いので見学や散策コースともなっています。

なお、巨木とは「胸高130cmのところで計り、幹周りが300cm以上の樹木」をいい（伊丹市みどり環境部みどり課）、推定300年以上は経過しているものと思われます。伊丹の巨木についていくつかの伝説がありますが、またの機会に譲ることにします。

主な行事予定 定例会（10月～1月）

10月28日（火）	分科会勉強会	「鬼貫句碑を訪ねて」	伊丹ホール前	9:30
11月11日（火）	秋期研修旅行	「草津宿本陣と坂本」	市役所前集合	8:20
12月9日（火）	分科会勉強会	「未定」	中央公民館	
1月13日（火）	研究発表	「古文書の勉強会」	中央公民館	

活動報告

平成15年度「ふるさと歴史体験学習」講座

酒井かづえ

7月30日(水)と31日(木)の二日間、北部児童センターにおいて、伊丹市教育委員会の委託事業で、平成15年度の「ふるさと歴史体験学習」講座を開催しました。テーマは、「むかしの文化を学びその暮らしを体験」です。

小学生以上を対象に募集したところ、定員の30名に対し、受付当日に44名もの応募がありました。担当の専門部会員のみでは手不足となり、他の会員の協力を得て進行しました。



当日のプログラムは、次のとおりです。

第1日 午前のみ : 古代の土笛をつくる

第2日 午前 : 古代人の飾りもの(勾玉・プレスレット)をつくる

午後 : どんぐりクッキーを焼く

参考までに上記の作業内容の概要を記しておきます。

- ① 土笛づくりは、粘土を卵形にこね、中をくりぬいて穴を開けて乾燥させた後に窯で焼き上げます。
- ② 勾玉は、穴の開いた石を三種類のサンドペーパーでこすって形を整えます。
- ③ プレスレットは、縦糸と横糸とを交互に編んでプラビーズで止めます。
- ④ どんぐりクッキーは、どんぐり粉、そば粉と山芋粉に砂糖を加えて練り、手のひらで好きな形に丸めて焼きます。



本講座のサブテーマ「古代の人たちが暮らしに使ったものをつくり、その暮らしを知ろう」のとおり、参加した子供達に手作りの苦勞と楽しさを肌で感じてもらえたものと思われます。

お手伝いさせていただいた一同も完成品に満足した子供たちの様子に、充実した二日間を味わうことができました。

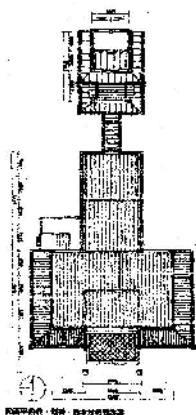
Q&Aコーナー

Q 神社には色々な建築様式があると聞きましたが、猪名野神社の本殿は、どのような建築様式なのでしょう。

A 春日大社に代表される建築様式「春日造」の一種で、「向唐破風付春日造」です。

本殿は、一間社とよばれる正面の柱と柱の間が1つ、つまり一間の小規模な社殿ですが、本殿の前に幣殿と拝殿を備えています。

春日造は、近畿圏に広く分布し、大陸建築手法の影響を濃く受けています。切妻・照屋根（下向きにへこんだ曲面の屋根）・妻入りで、正面にだけ階段上に本屋に取りつく格好で屋根が取り付けられている建築様式です。

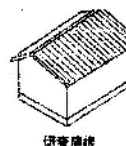
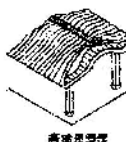


猪名野神社平面図

破風とは屋根の切妻についている合掌形の装飾板のことですが、唐破風は、破風がS字状に曲がり、中央が凸曲線、両端が凹曲線となっています。

また、春日造は一般には彩色されていますが猪名野神社では彩色されておらず、素木造になっています。

参考文献： 伊丹の文化財 世界大百科事典
伊丹の守護神 猪名野神社の歴史等



活動報告（日曜日担当班）

土曜日担当班、日曜日担当班とも人数の少ない班です。そのため、班の活性化に頭を悩ましておりましたところ、土曜日担当班から「合同での研修会や打ち合わせ会、ガイドの相互応援等」の提案がありました。当班はこれを受け、昨年度は合同で活動してきました。

研修会では、一人が旧岡田家と旧石橋家の説明役に、他は見学者役になって交互にロールプレイングを行い、[更にわかりやすく説明するにはどうすればよいか]を話し合っ

て研修を深めてきました。
今年の4月19日（土）に北海道音更町草木趣味の会の36名の方々が郷町館を見学に来られました際には日曜班から応援を出し、7月6日（日）に「関西歴史散歩の会」が来られたときには土曜日班から、というふうにお互いに助け合ってきました。おかげさまで、相互協力することによって、少ない人数ではありますが、効率的に班活動を進めることができました。本年度もがんばりますのでよろしくお願い申し上げます。

私は、昨年五月に六十歳で定年を迎えましたが、五十歳台の半ばに自分の余命が年々、確実に減っていくことを自覚し、生きている間に何かをやっておきたいと、切に望んだものでした。

この望みの中には、「可能なかぎり世界各国を旅したい」というテーマもありますが、達成可能なテーマとして2年前から「四国八十八カ寺巡拝」にチャレンジしました。バスツアーによる巡拝で、月1回の日帰りまたは一泊コースを13回重ねることにより、今年の春に結願しました。

一応、これでひとつの目標を達成したわけですが、それでも何かしら完全には燃焼せず、やはり八十八カ寺は自分の足で歩いて巡ることが本来の修行ではとの思いが残りました。でも、なかなか第一歩が踏み出せません。雑用に追われる毎日の中で、40日～50日という長い時間をなかなか生み出せず、また体力的に大丈夫かな、と多少の不安もあります。でも、いつかは実行したいと強く願っています。六十歳台半ばの実行を目標に毎日、歩け歩けを実践している今日このごろです。

****** お知らせコーナー ******

主な活動の記録 (7月～9月)

＜郷町館ガイド他＞

7月 6日 (日)	関西歴史散歩の会	63名	担当	F班
7月16日 (水)	探訪会 (大阪市鶴見区)	10名	担当	B班
7月18日 (金)	川西市福祉事業団	42名	担当	D班
8月 5日 (火)	自然俳句会蒲公英	13名	担当	亀田他3名
8月22日 (金)	兵庫県都市収入役会	25名	担当	D班
9月 5日 (金)	伊丹市商工会	40名	担当	D班

＜学校外活動 北部児童センターにて＞

7月30日 (水)	古代の土笛をつくる	参加者	44名
7月31日 (木)	勾玉・ブレスレットをつくる どんぐりクッキーを焼く	担当	専門部会員他

＜出前活動＞

8月26日 (火)	昆陽の里児童クラブ	参加者	20名
		担当	山内他3名

編集後記

多彩(才)な新会員を迎え、恒例の行事に追われている内に早いもので、半年が過ぎ去りました。日照不足 否 時間不足で不作などといわず、残る半年を実りあるものに高めて行きたいものです。皆様の投稿をお待ちしています。